

施 政 概 要

(案)

令和4年第3回（9月）市議会定例会

四 街 道 市

予定事項等が含まれていることや、8月24日時点の内容であることから、
今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和4年第3回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、新たな変異株への置き換わりとともに、本市においても過去最多の新規感染者数を記録するなど、全国的に感染が急速に拡大いたしました。このような状況において、市では千葉県や医師会をはじめ各関係機関と連携しながら、市民の皆様に情報提供を行うとともに、基本的な感染対策を重ねてお願いしているところです。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、3回目の接種から5か月を経過した高齢者等を対象に4回目の接種を実施しています。予約方法を掲載したチラシの配布やインターネットでの予約が不安な方をサポートする「おたすけ隊」の設置等により、予約のサポートを行ったところです。市民の皆様及び医療機関をはじめとした各関係機関のご協力により、順調に接種を進めています。また、オミクロン株に対応したワクチン接種についても、国からこの秋以降の実施を想定し準備を始めるよう通知されており、今後、必要な接種体制の確保に努めてまいります。

続きまして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市独自の主な支援等について申し上げます。本市においては、新型コロナウイルス感染症の防止及び感染拡大の影響のほか、コロナ禍における原油価格、物価高騰の影響を受けている市民生活への支援や、市内事業者等の負担軽減に向けた支援を中心に実施しています。

はじめに「市民生活への支援」の取組でございますが、乳児の感染対策として、本年中に出生した乳児を対象に、申請のあった世帯に対し1人当たり5万円の給付金を順次支給しています。

子育て世帯の支援として、中学校3年生までの子どもがいる世帯に対し、子ども1人当たり1万円の給付金を支給するため、10月の支給に向け、準備を

進めています。

小中学校や公立保育所の給食支援として、物価の高騰による食材費の値上がり分を市が補填することで、給食における質の低下を回避し、栄養バランスや量を保った給食を提供しています。

保育施設等への支援として、コロナ禍においても、子どもたちの保育や教育を継続して行っている市内の民間保育施設等に対し、奨励金の支給に係る案内通知書を送付するなど、9月の支給に向け、準備を進めています。

デジタルデバイドの解消策のひとつとして、初めてスマートフォンを購入した65歳以上の高齢者に対し、来年3月15日までを申請期限として、助成金の受付を行っています。また、スマートフォンの基本的な使い方やキャッシュレス決済等を学ぶ、スマートフォン講習会については、9月下旬からの開催に向け、準備を進めています。

次に、「事業者等への支援」の取組でございますが、事業活動の支援として、直近1年間の売上高が50万円以上であること等の要件に該当する中小企業者やNPO法人等の事業者に対し、9月30日までを申請期限として、応援金の支給を行っています。

農業者支援として、本年度に肥料や飼料、農薬等を購入した市内の農業者に対し、9月30日までを申請期限として、年間農産物販売額に応じた応援金の支給を行っています。

介護サービス事業所及び障がい福祉サービス等事業所への支援として、献身的にサービスを提供していただいている市内各事業者に対し、8月31日までを申請期限として、奨励金の支給を行っています。

続きまして、新型コロナウイルス感染症に係る国等の主な支援等について申し上げます。

国の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金を活用した、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金につきましては、対象となる児童扶養手当受給者及び住民税非課税世帯の児童手当又は特別児童扶養手当受給者に対し、8月16日現在で、811世帯に給付しています。

生活困窮者の自立支援については、「くらしサポートセンターみらい」において、緊急小口資金特例貸付及び住居確保給付金の申請受付や相談等を引き続き行っています。

国民健康保険・後期高齢者医療については、新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対し、傷病手当金の支給を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した世帯に係る保険税及び保険料の減免に関する相談等を行っています。

続きまして、本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組について申し上げます。

市政全般にわたる事業の総点検については、５月から７月にかけて約４００事業に係るヒアリングを実施しました。今後は各部署と共有した課題等を、日々の業務運営や今後の事業展開、予算編成等に活かしてまいります。

６年度を開始年度とする新たな「四街道市総合計画」の策定については、８月には市内に居住する１５歳から２９歳までの若者及び子育て世帯３，０００人を対象に、インターネットを活用してアンケートを実施したほか、オンラインによる市長と市民等との意見交換会「よびとーく」を実施し、参加された市民等から直接未来の四街道市への想いをお聞きしました。今後も新しい生活様式を踏まえた市民参加手続を実施しながら、策定作業を進めてまいります。

次期ごみ処理施設については、これまでにリストアップした想定パターンの絞り込み作業を行うとともに、施設用地における汚染された土壌搬入の経緯について、退職者を含めた関係する職員への聴取を進めているところです。

市庁舎整備については、４月から庁舎整備工事の契約手続を進めてまいりましたが、入札が不調となったことから、改めて入札を行うための調整を進めています。

ファシリティマネジメントの推進については、電気使用料及び二酸化炭素排出量を削減するため、公共施設のＬＥＤ照明の導入に向けた取組を開始しました。

続きまして、主要施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【分野別の主要施策】

基本目標１「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」の分野でございますが、子ども家庭支援については、需要が増加傾向にある南小学校において、第三こどもルーム建設工事の契約を締結し、来年４月１日の開所に向け、準備を進めています。

高齢者支援については、千代田中学校区における新たな地域包括支援センターの開設に向け、建物及び駐車場等の整備工事を発注しました。また、運営事業に係る業務委託の契約手続を進めています。

健康づくりについては、「第２次健康よつかいどう２１プラン」の中間評価の

基礎資料とすることを目的として、市内に居住する２０歳以上、中学校２年生及び高校２年生等３，５００人を対象とした市民意識調査の実施に向け、準備を進めています。

基本目標２「安全・安心を実現するまち」
の分野でございますが、防災・減災については、「四街道市地域防災計画」の改訂に向け、市民参加条例に基づくワークショップとして、「災害時における自助・共助のポイント」をテーマに、６月から８月まで全３回実施しました。今後は、いただいたご意見等を踏まえながら、引き続き計画の改訂作業を進めてまいります。

消防・救急については、増加基調にある救急需要や災害現場活動を円滑に行うため、千代田分署に配置されている救急車及び携帯型無線機の更新整備に係る契約を締結しました。

消防団については、第２分団に配置されている消防ポンプ自動車の更新整備に係る契約を締結しました。また、７月３日に「第４２回千葉県消防協会印旛支部消防操法大会」が開催され、本市を代表してポンプ車操法の部に第２分団が出場し準優勝したことから、印旛支部代表として、７月３０日に開催された「第５８回千葉県消防操法大会」に出場しました。この大会においても２位となる優秀賞に入賞しました。

基本目標３「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」
の分野でございますが、子ども教育については、キャリア教育の一環として、将来を担う中学生が、平和の大切さについて学び、考え、自分らしい生き方を見だし、行動する力を育むことを目的として、８月１日、２日の両日、市内中学生１０名を被爆地である長崎市に派遣しました。

文化・スポーツについては、７月に「第７３回印旛郡市民スポーツ大会」が印旛地区の各会場で開催され、本市を主会場にテニスとバレーボールの競技が行われました。本市においては、１６競技２４種目に選手・役員を派遣し、軟式野球、ソフトボール女子、空手道の３種目で優勝しました。

基本目標４「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」
の分野でございますが、環境保全については、環境行政等に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、６年度を開始年度とする新たな「四街道市環境基本計画」の策定業務委託に係る発注準備を進めています。また、市域の温室効果ガス排出削減に係る「四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」の年度内策定に向け、作業を進めています。

水道事業では、安定した水の供給と安全性を確保するため、みそら地先ほか4か所の配水改善工事及び第3浄水場の受変電設備に係る更新工事等を発注しました。

基本目標5「にぎわいと活力にあふれるまち」
の分野でございますが、道路・交通については、安全・安心な交通環境を整備するため、栗山30号線の舗装修繕工事を発注したほか、栗山10号線及び大日畔田台5号線の契約手続を進めています。また、物井駅東口アクセス道路の予備設計委託及び吉岡9号線の道路改良工事を発注しました。

公共交通サービスの充実では、グリーンスローモビリティを活用した実証実験において、3月に実施した会員アンケート調査結果を受け、千代田各自治会等とより利用しやすい運行の見直し案を協議しました。新たな運行は、地域公共交通会議の意見を踏まえながら、10月から開始する予定で準備を進めています。

市街地形成については、本市の都市計画に関する基本的な方針となる新たな「四街道市都市計画マスタープラン」の策定に向け、準備を進めています。

基本目標6「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」
の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を活用した親子動画制作ワークショップ「みんなでユーチューバー」を開催しました。ワークショップには6組の親子が参加し、「四街道の好きな場所」をテーマに動画を制作しました。

コミュニティ活動では、8月20日にこれまでともに作り上げてまいりました関係団体に加え、市内NPO法人や小学校等の協力・連携の下、「原点回帰」と「多様性」をテーマに、四街道中央公園を会場として、四街道ふるさとまつりを3年ぶりに開催し、盛会裏に終了しました。新たな取組として、障がい者施設との連携を図ったチャリティTシャツの制作や市民によるアートを融合させた展示、千葉敬愛高校ダンス部によるダンス披露等、新たな関わりと価値を生み出し、市民の皆様とともに新しいふるさとまつりをつくりあげることができました。

シティセールスについては、市の認知度向上を図るため、8月4日に東関東自動車道の陸橋に設置している市PR用横断幕を新たなキャッチコピーへ更新しました。また、7月から8月にかけて、シティセールスのターゲットエリアとなる京葉道路の幕張パーキングエリア内に市の周知啓発用パンフレットを設置し、市の魅力を発信しました。

以上、これまでの施政の概要について申し上げました。

今後とも、四街道市民の命とくらしを守り抜くとともに、対話と現場主義を大切にし、四街道市を発展させるため、全力を傾注してまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年8月29日

四街道市長 鈴木 陽介